

七夕講演会・観望会

2025年
7.4 金
18:00~
(開場：17:30~)

大阪公立大学 杉本キャンパス
理学部 G棟 サイエンスホール

① 講演会 18:00~18:45
高橋 和
岡山大学
環境生命自然科学研究科 教授



宇宙で静電気が大問題!?被害額1000億円!

宇宙には空気がなく、電気が逃げていきません。そのため、人工衛星には「静電気」がどんどんたまってしまいます。そしてある日、「パチッ!」と放電して、通信が止まったり、部品が壊れたりすることがあります。これによって、なんと1000億円の被害が出た例もあります。この講演では、なぜ宇宙産業で静電気が問題なのか、どんなトラブルが起きるのかを、身近な例とともに紹介します。そして、私たちが開発している「光で衛星の静電気を見つけるセンサ」について、図や写真を使ってわかりやすく説明します。



宇宙から見た地球の写真

② 講演会 18:50~19:35
本間 希樹
国立天文台 教授
水沢VLBI観測所所長



人類が初めて見たブラックホールの姿

2019年4月、国際プロジェクトのイベント・ホライズン・テレスコープ(Event Horizon Telescope)が、楕円銀河M87の中心にあるブラックホールの写真を公開して世界中で大きなニュースになりました。公開された写真にはドーナツのようなリングが写っており、その中心には「ブラックホールの影」が暗い穴としてとらえられていました。また、2022年5月には、天の川銀河の中心にあるブラックホールの写真も公表され、M87の場合と同様の姿が捉えられました。本講演では、同プロジェクトで日本の代表を務める講師が、ブラックホールの影の観測手法や撮影意義についてわかりやすく解説し、また今後の研究の展望についても説明します。



EHTで撮像されたブラックホールの画像
©EHT Collaboration

③ 4次元シアター 「2025年宇宙の旅」
19:40~20:00

④ 活動報告 超小型人工衛星「OMUSAT-III」のミッションと開発
20:00~20:10 工学部航空宇宙工学科2年 岳山航大
小型宇宙システムセンターの紹介とOMUSAT-IIIのミッション内容、今後の開発についてお話をします。

⑤ 観望会(天文部) 「七夕の星空」
G棟サイエンスホール前
20:10~20:30(雨天中止)

タイムスケジュールは変動する可能性があります。

会場(杉本キャンパス)へのアクセス



- ・JR阪和線「杉本町駅」から徒歩7分
- ・Osaka Metro御堂筋線「あびこ駅」から徒歩20分

大阪市博物館機構との共催による七夕講演会もあります

重力波観測の過去、現在、そして未来

日時：2025年7月26日
18:00~20:00
会場：大阪市立科学館
プラネタリウム
(地下1階)



講師：神田展行
大阪公立大学大学院
理学研究科 教授



詳細はこちら

申し込み期限：7月18日まで

主催 大阪公立大学 大学院理学研究科 電波天文学研究室
大阪公立大学 宇宙科学技術センター
大阪公立大学 天文部
日本天文学会
共催 天文教育普及研究会
後援 日本学術会議
日本プラネタリウム協議会

大阪公立大学 大学院理学研究科 電波天文学研究室
TEL：06-6605-7045



研究室サイト



大学公式サイト